



2025年6月期 決算説明資料

株式会社クオルテック 【証券コード：9165】

- 01** 通期売上高は全セグメントで増収を図り、全体で前期比11.1%増収の4,025百万円。業績予想を達成し、過去最高額を更新。当社の主要取引先である車載業界の技術開発は、電動化を中心に各社旺盛な状況。電動化は半導体各社も巻き込んだパワー半導体の高効率化、小型化、低コスト化に向けた取組みが活発な状況であり、開発段階での信頼性試験における社外評価機関との連携が益々強化されている。そのような状況下で、当社は幅広い顧客ニーズにお応えすべく、信頼性試験増強を図りつつ受注を着実に積み上げ、主力事業である信頼性評価事業は前期比11.2%増収。(内パワーサイクル試験は22.5%増収)
- 02** 営業利益は成長戦略へ向けた拡販体制強化による増収により、次世代半導体を中心とした研究開発等の販管費・研究開発費増をカバーし、前期比0.9%増益の384百万円。当期純利益は投資有価証券評価損等の特別損失の影響により△18.6%減益の219百万円。
- 03** 通期業績予想は増収増益を見込む。主要顧客である車載業界を中心に米国関税政策発動による各社業績予想への影響が顕在化し、今後の動向については予断を許さない状況であるが、各社技術開発の動向を注視しながら拡販活動を展開中であり、更なる成長戦略を加速させる。配当については、事業成長に向けた投資余力の確保と安定的な株主還元の両立を基本に一株あたり37円を見込む。

目次

- | 1 決算概要
- | 2 販売概況
- | 3 営業利益増減分析
- | 4 その他経営数値
- | 5 通期業績予想
- | 6 附録（注意事項）

1. 決算概要

売上高は全セグメント成長を図り、前期比+401百万円(+11.1%)増収。営業利益は成長戦略投資影響があるも、増収効果により+3百万円(+0.9%)増益。経常利益は営業外損益影響+14百万円で+17百万円(+4.8%)増益。売上高、営業利益、経常利益は過去最高額を更新。当期純利益は投資有価証券評価損等の特別損失の影響が△76百万円、法人税等影響+8百万円となり、△50百万円(△18.6%)減益。

【単位:百万円、%】()内は売上高比

	24年6月期 実績	25年6月期 予想	25年6月期 実績	前期差	前期比	予想差	予想比
売上高	3,623	4,000	4,025	+401	+11.1%	+25	+0.6%
営業利益	381 (10.5%)	385 (9.6%)	384 (9.6%)	+3	+0.9%	△0.2	△0.1%
経常利益	366 (10.5%)	370 (9.2%)	384 (9.6%)	+17	+4.8%	+14	+3.9%
当期 純利益	270 (7.5%)	280 (7.0%)	219 (5.5%)	△50	△18.6%	△60	△21.5%

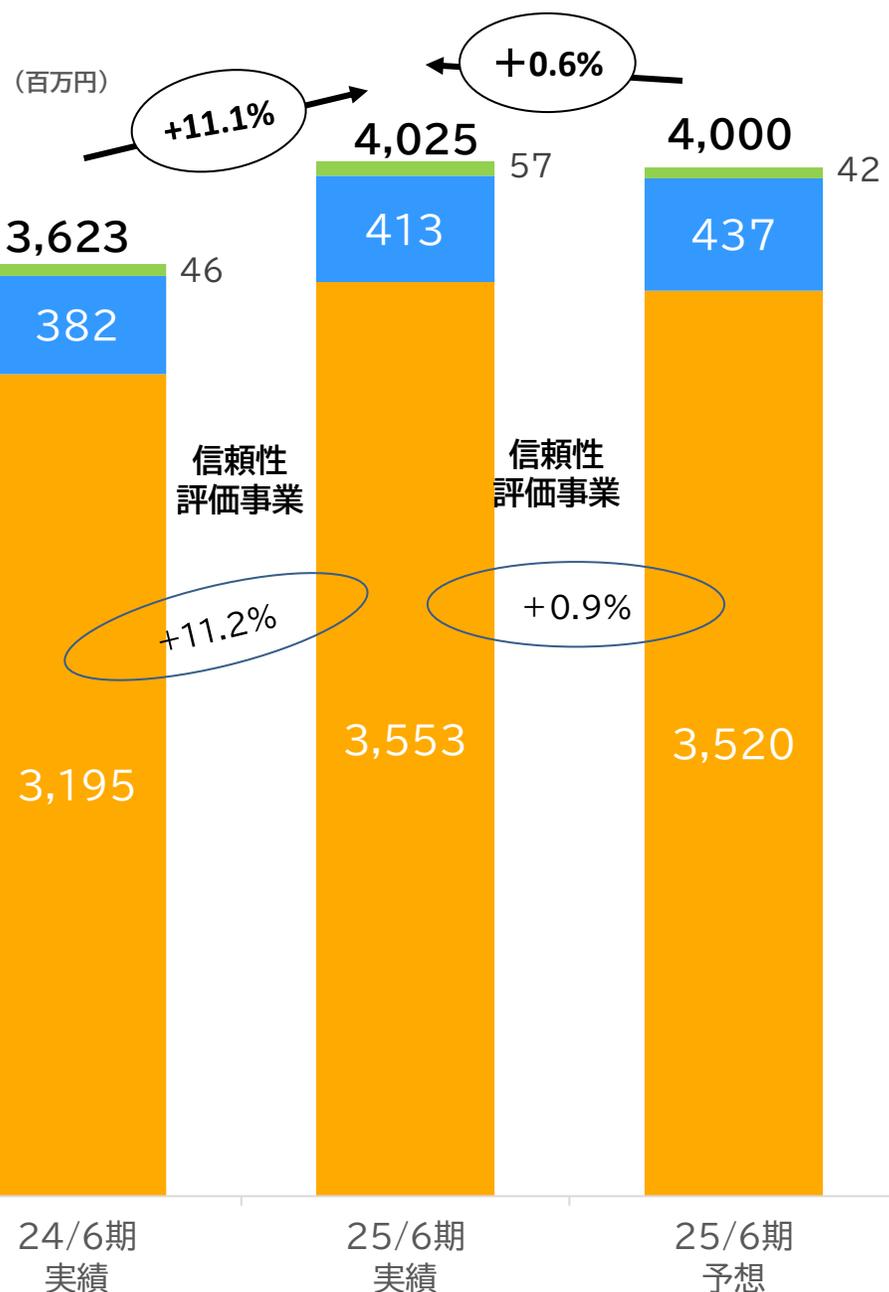
1. 決算概要 セグメント別業績

【単位:百万円、%】

		24年6月期 実績	25年6月期 予想	25年6月期 実績	前期比	予想比
信頼性事業	売上高	3,195	3,520	3,553	+11.2%	+0.9%
	営業利益	984	1,187	1,061	+7.8%	△10.7%
微細加工事業	売上高	382	437	413	+8.2%	△5.4%
	営業利益	129	194	184	+42.3%	△4.9%
その他事業	売上高	46	42	57	+25.4%	+37.4%
	営業利益	△19	△15	△13	—	—
全社費用	販管費 研究開発費	714	981	847	—	—
合計	売上高	3,623	4,000	4,025	+11.1%	+0.6%
	営業利益	381	385	384	+0.9%	△0.1%

2.販売概況 セグメント別売上高（前期比/予想比）

全社売上高は全セグメントで成長を図り、前期比+11.1%増収、予想比+0.6%増収達成。
信頼性評価事業はパワサイ試験を中心に好調に推移し、前期比+11.2%増収、予想比+0.9%増収達成。
微細加工事業は表面処理技術が好調に推移し、前期比+8.2%増収も、予想比△5.4%減収未達。
その他事業はバイオ信頼性試験が好調に推移し、前期比+25.4%増収、予想比+37.4%増収達成。



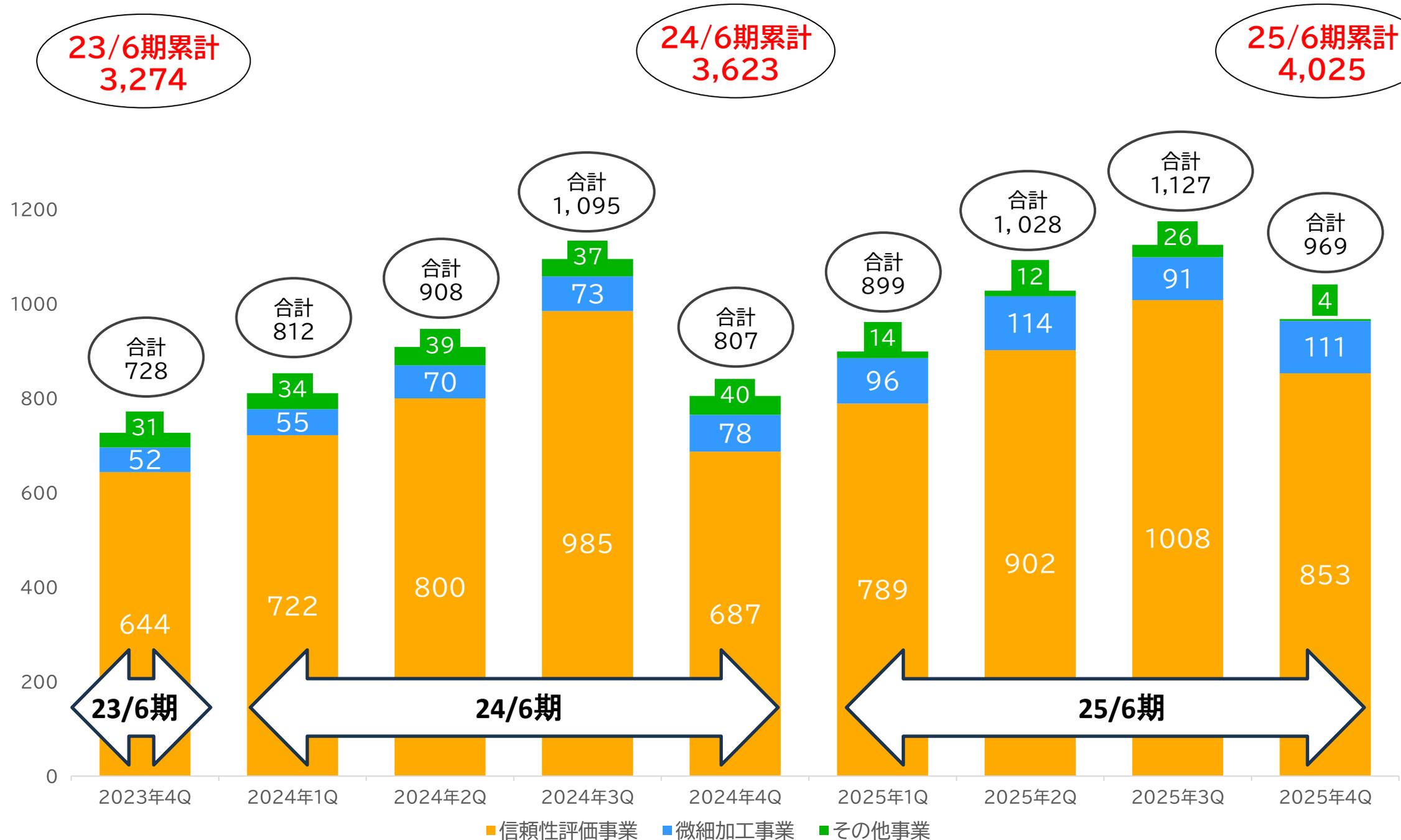
セグメント	増減率	前期比	予想比
信頼性評価	前期比 +11.2% 予想比 +0.9%	<ul style="list-style-type: none"> ■ 信頼性試験: +9.9%増収 ■ 断面研磨: +6.9%増収 ■ パワサイ試験: +22.5%増収 	△1.2%未達 +3.8%達成 +1.9%達成
微細加工	前期比 +8.2% 予想比 △5.4%	<ul style="list-style-type: none"> ■ レーザ加工: +0.1%増収 ■ 表面処理技術: +29.5%増収 	△14.4%未達 +20.5%達成
その他	前期比 +25.4% 予想比 +37.4%	<ul style="list-style-type: none"> ■ バイオ: +46.0%増収 	+39.6%達成

※25/6期から表面処理技術はその他事業から微細加工事業にセグメント変更しており前年同期も組み替えて比較しています。

2.販売概況 四半期売上高推移（セグメント別）

全四半期で前期比増収を図り、通期では初の40億円超えとなり過去最高額更新。

【単位:百万円】

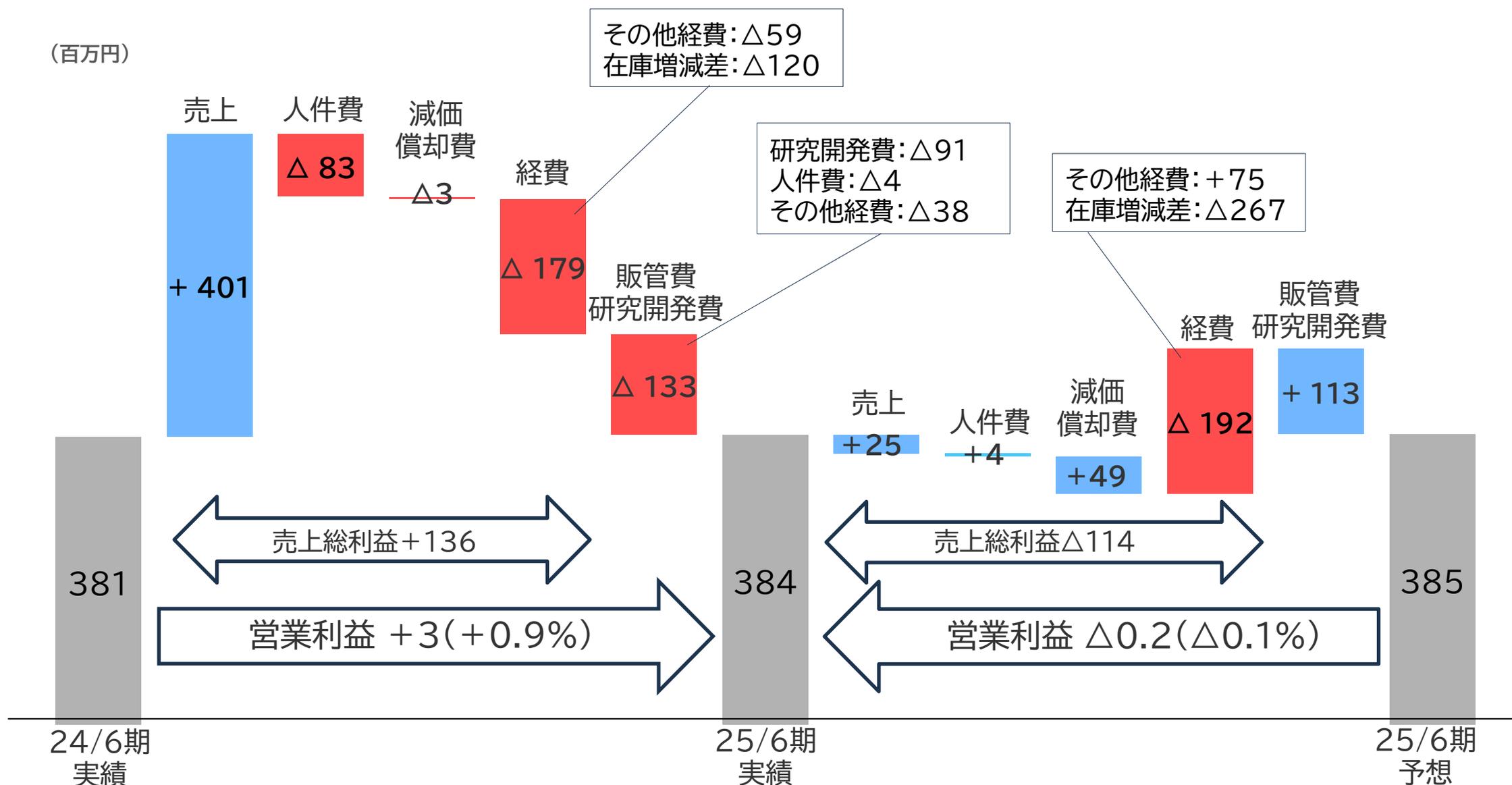


※25/6期から表面処理技術はその他事業から微細加工事業にセグメント変更しております。

3. 営業利益増減分析（前期比/予想比科目別）

営業利益は前期比+3百万円(+0.9%)増益の384百万円。信頼性評価事業を中心に成長戦略へ向けた拡販体制増強を図り、売上高+401百万円増収により売上総利益は+136百万円増益。次世代半導体を中心とした研究開発積極推進等に伴う販管費・研究開発費増△133百万円をカバー。

予想比は概ね達成。売上高+25百万円増収及び各種費用抑制を推進するも、在庫増減差影響により、△0.2百万円(△0.1%)減益。



3. 営業利益増減分析（前期比セグメント別）

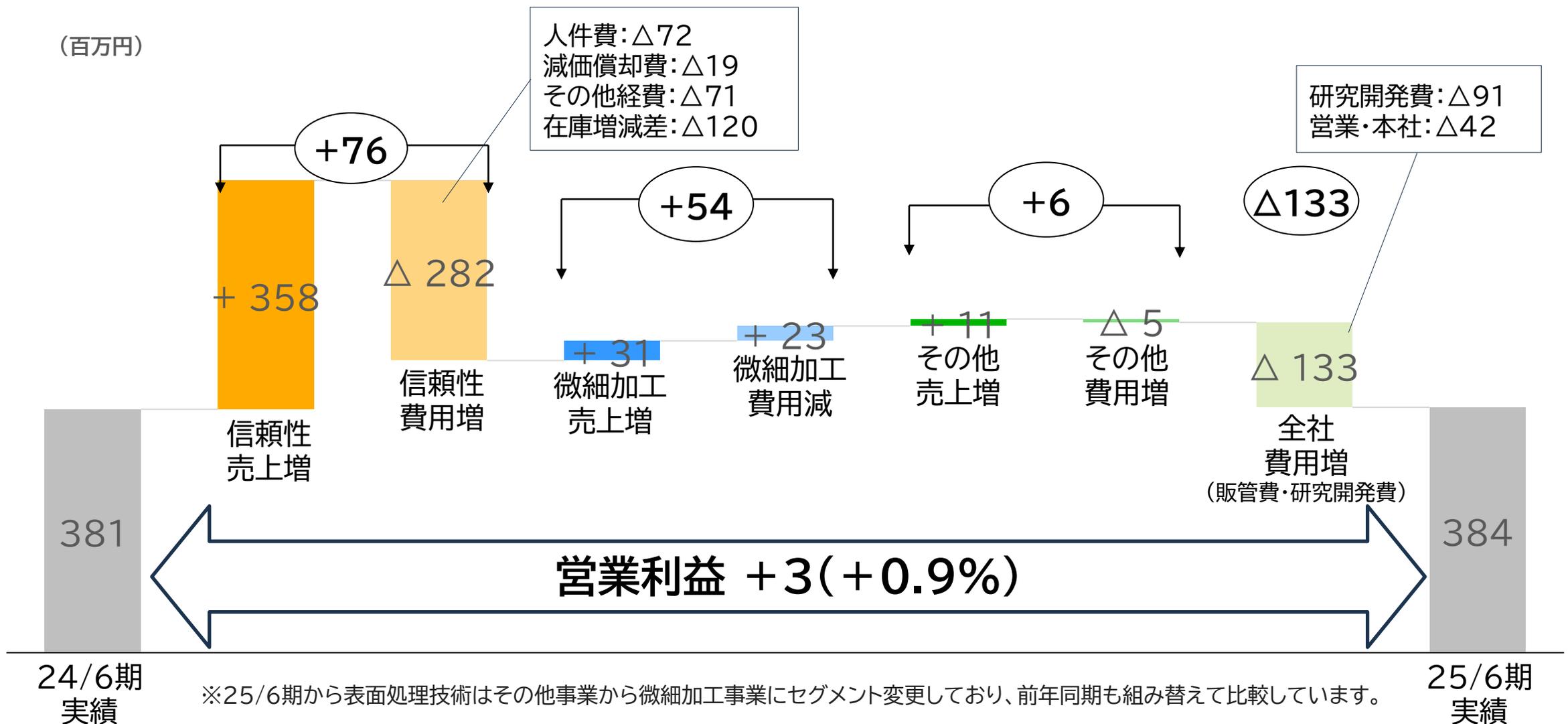
全社営業利益は前期比+3百万円(+0.9%)増益の384百万円。

主力事業である信頼性評価事業は、成長戦略へ向けた拡販体制増強による費用増あるも、増収効果により+76百万円(+7.8%)増益。

微細加工事業は増収と減価償却費の減少により+54百万円(+42.3%)増益。

その他事業はバイオ信頼性試験の増収により、費用増あるも+6百万円増益。

全社費用は次世代半導体を中心とした研究開発積極推進等により△133百万円減益。



4.その他経営数値（前期差）



その他経営数値の状況は下記の通り。

【単位:百万円,%】()内は売上高比

	24年6月期 実績		25年6月期 実績		前期差
総資産		4,140		4,346	+205
純資産		3,155		3,277	+121
自己資本比率		76.2%		75.4%	△0.8%
現預金残高		1,902		1,535	△367
設備投資		398		984	+585
研究開発費	(2.4%)	87	(4.4%)	179	+91
在籍人員(人)		242		257	+15

5.通期業績予想

業績予想は増収増益を見込む。売上高は米国関税政策発動による主要顧客における先行き不透明感が増大し、予断の許さない環境下であるも、信頼性評価事業、微細加工事業を中心に技術開発顧客ニーズにお応えすべく、試験メニューの充実と販売力強化施策により前期比+374百万円(+9.3%)増収を見込む。

営業利益は成長戦略2年目を迎え、信頼性評価事業、新規事業への成長投資を中心に固定費増を織り込むも、増収効果により前期比+20百万円(+5.4%)増益を見込む。

【単位:百万円、%】 ()内は売上高比

	24年6月期 実績		25年6月期 実績		26年6月期 予想		25/6期 実績 vs 26/6期 予想	
	金額	売上高比	金額	売上高比	金額	売上高比	金額	売上高比
売上高	3,623		4,025		4,400		+374	+9.3%
営業利益	381	(10.5%)	384	(9.6%)	405	(9.2%)	+20	+5.4%
経常利益	366	(10.1%)	384	(9.6%)	404	(9.2%)	+19	+5.2%
当期 純利益	270	(7.5%)	219	(5.5%)	271	(6.2%)	+51	+23.4%

5.通期業績予想 セグメント別業績

【単位:百万円、%】

		25年6月期 実績	26年6月期 予想	前期比
信頼性事業	売上高	3,553	3,859	+8.6%
	営業利益	1,061	1,319	+24.3%
微細加工事業	売上高	413	488	+18.0%
	営業利益	184	205	+11.3%
その他事業	売上高	57	53	△8.5%
	営業利益	△13	3	—
全社費用	販管費 研究開発費	847	1,122	—
合計	売上高	4,025	4,400	+9.3%
	営業利益	384	405	+5.4%

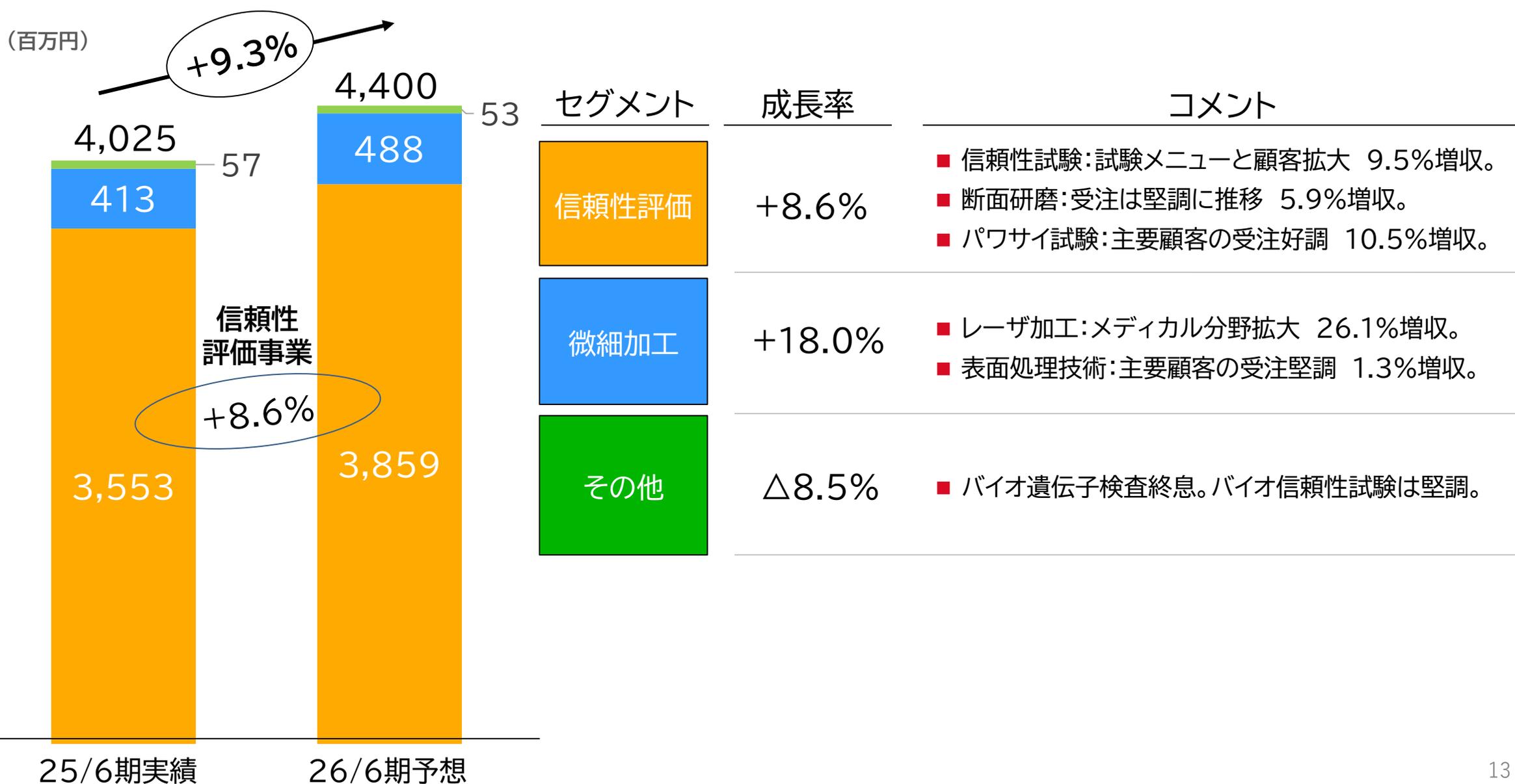
5.通期業績予想 セグメント別売上高（前期比）

全社売上高は信頼性評価事業及び微細加工事業で成長を図り、前期比+9.3%増収。

主力事業である信頼性評価事業は全カテゴリで成長。信頼性試験は試験メニューと顧客拡大により成長。断面研磨は受注堅調。パワサイ試験は主要顧客の受注好調。全体で前期比+8.6%増収。

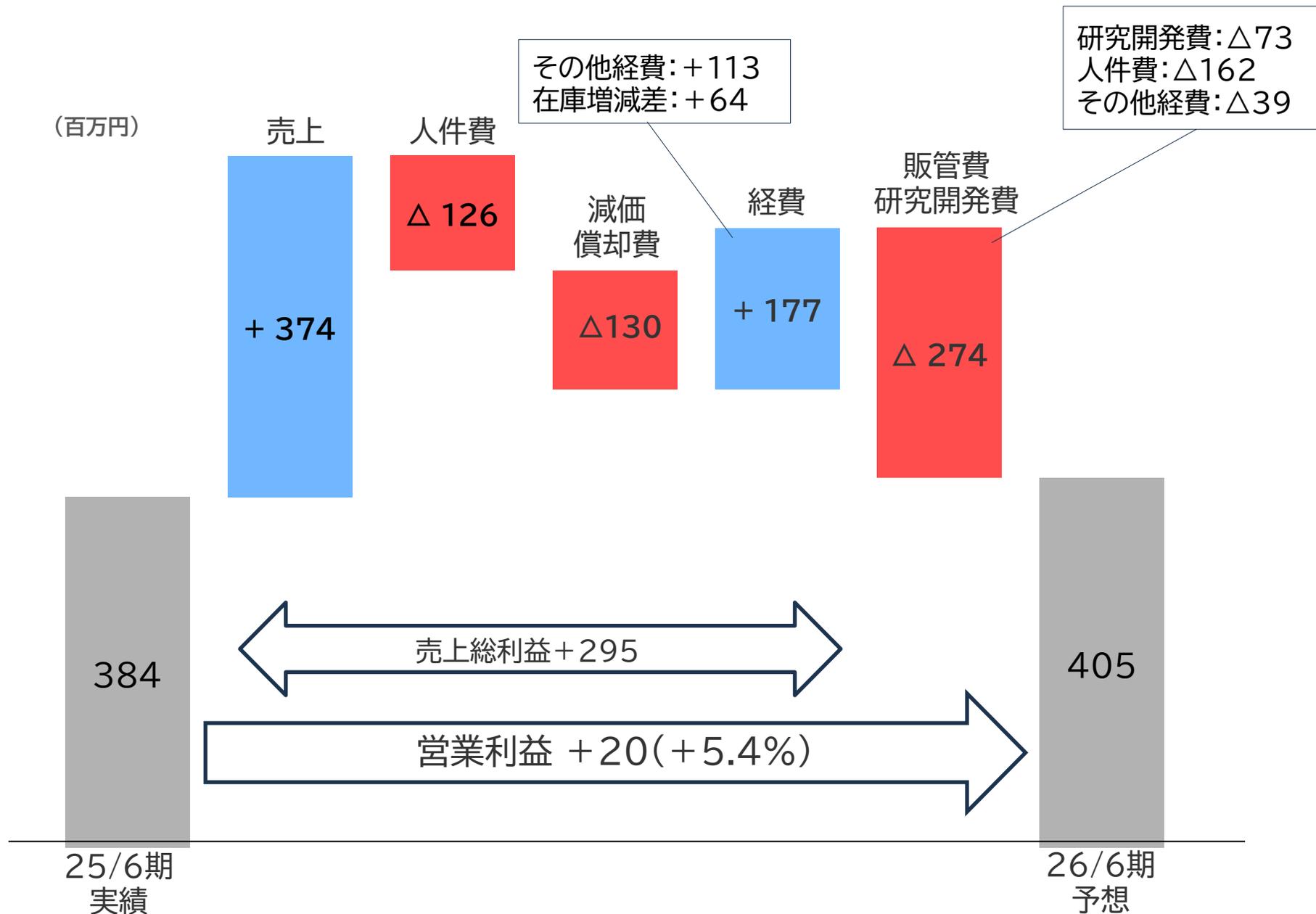
微細加工事業は全カテゴリで成長。レーザ加工はメディカル分野拡大で成長。表面処理技術は主要顧客の受注堅調。全体で前期比+18.0%増収。

その他事業は減収。バイオ遺伝子検査終息による影響で前期比△8.5%も、バイオ信頼性試験は堅調。



5.通期業績予想 営業利益増減分析（前期比科目別）

営業利益は前期比+20百万円(+5.4%)増益の405百万円を見込む。
 信頼性評価事業、微細加工事業による増収+374百万円により、売上総利益は+295百万円増益。
 営業を中心とした体制強化、次世代事業への研究開発積極推進等による販管費・研究開発費増
 △274百万円をカバー。



5.通期業績予想 営業利益増減分析（前期比セグメント別）

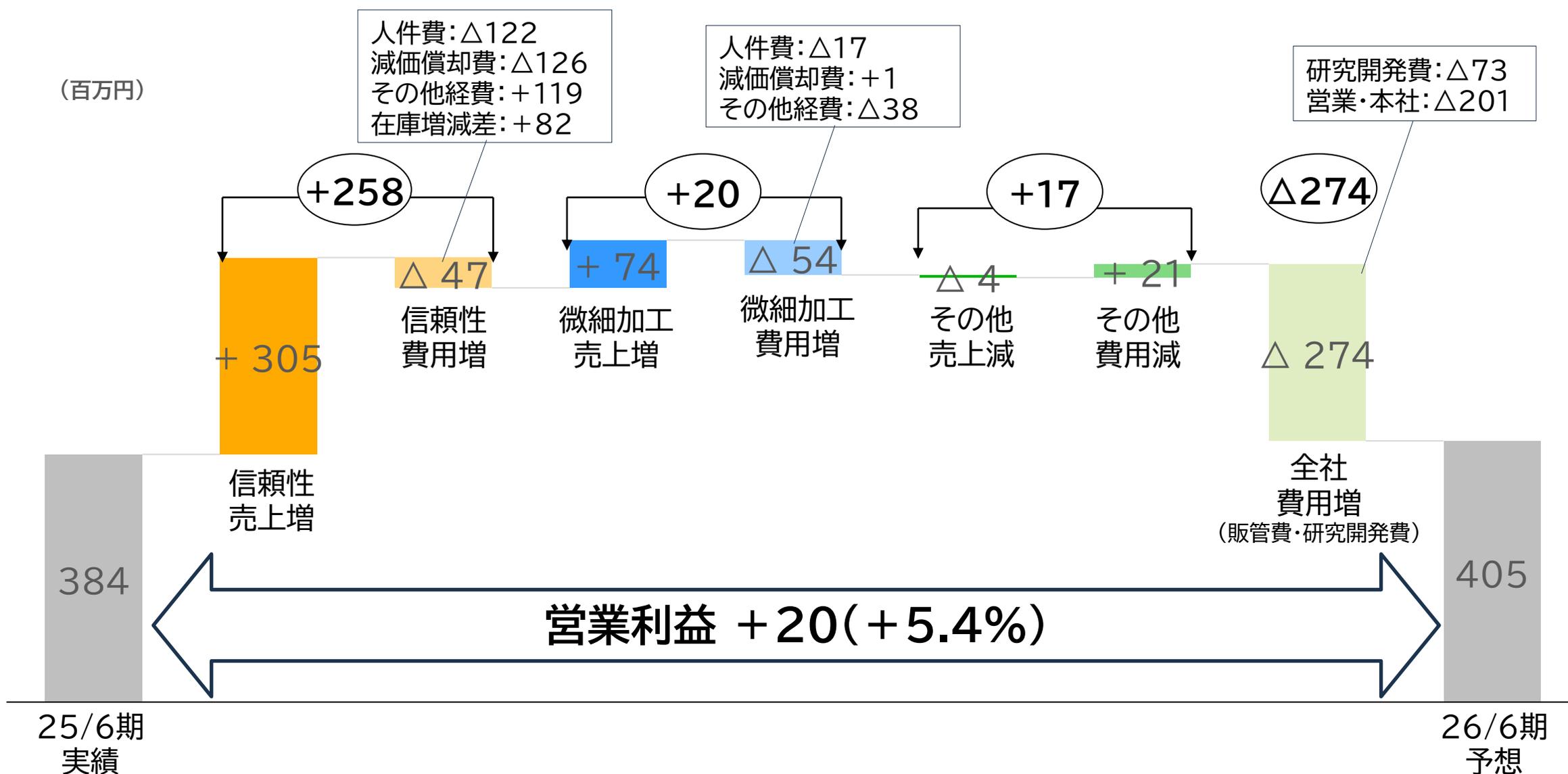
全社営業利益は前期比+20百万円(+5.4%)増益の405百万円を見込む。

主力事業である信頼性評価事業は、成長戦略に向けた人員設備増強を織り込むも、増収効果により+258百万円(+24.3%)増益。

微細加工事業は拡販に向けた費用増を織り込むも、増収効果により+20百万円(+11.3%)増益。

その他事業はバイオ遺伝子検査終息による減収も、費用抑制により+17百万円増益で黒字化を目指す。

全社費用は営業を中心とした体制強化、次世代事業への研究開発積極推進等により△274百万円の減益。



5.通期業績予想 配当予想



事業成長に向けた投資余力の確保と安定的な株主還元の両立を基本ポリシーとして継続。
26年6月期の配当予想については、一株当たり37円を見込む。

	24年6月期 実績	25年6月期 実績	26年6月期 予想	25/6期 実績 vs 26/6期 予想
当期純利益	270百万円	219百万円	271百万円	+51百万円
1株当たり配当金	※ 42.00円	37.00円	37.00円	±0.00円
発行済み株式数	2,350,000	2,350,000	2,350,000	±0
配当金総額	98,700千円	86,950千円	86,950千円	±0千円
配当性向	36.3%	39.6%	32.1%	△7.5%

※普通配当37円00銭+記念配当5円00銭

6. 附録（注意事項）

本資料には、将来の見通しに関する記述が含まれています。

これら将来の見通しに関する記述は、当該記述を作成した時点における情報に基づいて作成されています。これらの記述は、将来の結果や業績を保証するものではありません。このような将来予測に関する記述には、必ずしも既知および未知のリスクや不確実性が含まれており、その結果、将来の実際の業績や財務状況は、将来予想に関する記述によって明示的または黙示的に示された将来の業績や結果の予測とは大きく異なる可能性があります。

上記の実際の結果に影響を与える要因としては、国内および国際的な経済状況の変化や、当社が事業を展開する業界の動向などが含まれますが、これらに限られるものではありません。

また、当社以外の事項・組織に関する情報は、一般に公開されている情報に基づいており、当社はそのような一般に公開されている情報の正確性や適切性を検証しておらず、保証していません。

assists your "thinking"

Qualtec

